



タカネザクラ [高嶺桜]

5本の樹

落葉 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



科名 バラ科 (APGⅢ)

特記 生長：普通

桜の野生種の一つで最も標高の高いところに自生する。厳しい風雪にも耐え、尾根づたいでは枝を密生させ背丈ほどに樹高を低くして、環境に適応した樹形になる。5月頃、葉の展開と同時に咲く淡い紅色の花は、中心部ほど紅が濃くなる。秋には、美しく紅葉し山肌を染める。



Memo

別名ミネザクラとも呼ばれ近畿以北の亜高山帯に自生する。開花は環境に合わせ5～7月と幅がある。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期						■							
果 実								■					
紅葉・黄葉											■		
施 肥		■							■				
剪 定		■ (極力避ける)						★★					■

★：花芽分化の時期（分化後に剪定すると花付が少なくなる）


好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壤	乾	○	○	湿
寒 さ	強	◎		弱
暑 さ	強		○	弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
			○		○	○	

ポイント 厳しい風雪地には強いが、温暖な平野部では生育し難く、衰退しやすい。関東以西の植物園などでも生育は芳しくない。南部に行くほど自生地の標高が高くなる。配植は寒冷な北国に限られる。

剪 定 桜の中では細かい枝を伸ばすので、風通しよく枝を整理する。大木になる桜ではないが、ひこばえを伸ばすことがあるので、細い内に不要な枝を整理し、切り口を消毒し傷口癒合剤を塗布するとよい。

病虫害 温暖な平野部では病虫害が多いため、定期的にチェックし対処する必要がある。葉を食害するシャチホコやイラガ類、吸汁するカイガラムシなどの被害を受けることがる。

呼べる蝶  メスアカミドリシジミ